

### 保存·活用

使いながら 守っていく

活用しながら文化財を保存する。 使うこと、見せることでその価値を高め、 重要性の共通意識を醸成する。

宝《日報音

### 耐震補強

地震国・ 日本の命題

あるがままの姿を保ちながら、 必要最小限の補強、補修で自然災害、 地震に負けない文化財を後世に継承する。

## 地方創生

地域の財産としての 文化財

文化財が人を魅了する。人を呼ぶ。 地域活性化の重要なファクターとなり得る 可能性を秘めた地域の宝として活用する。

### 技術革新

最高レベルの 土木・建築技術

今だからこそ可能な補修、修復技術。 古の匠の技と、革新的な現代技術の 融合により歴史的遺産を受け継ぐ。



公益財団法人 文化財建造物 保存技術協会 事業部 設計室

事業部設計室設計課長

Hiroyuki Kobayashi

でしたが、時代の経過とともに煉 この近代建築が対象として加わっ この近代建築が対象として加わっ この近代建築が対象として加わっ できています」。 で機能しているものも多く、規模 で機能しているものも多く、規模 で機能しているものも多く、規模 で機能しているものす法、意義も変 化すると小林課長は予想する。 「日本において木造の文化財建造 物の保存修理の技術や考え方は 一〇〇年以上も積み重ねてきたの で既に確立しています。例えば木 で既に確立しています。例えば木 を同質の木材を継ぎ足して修理する。 ることを原則としています。傷み

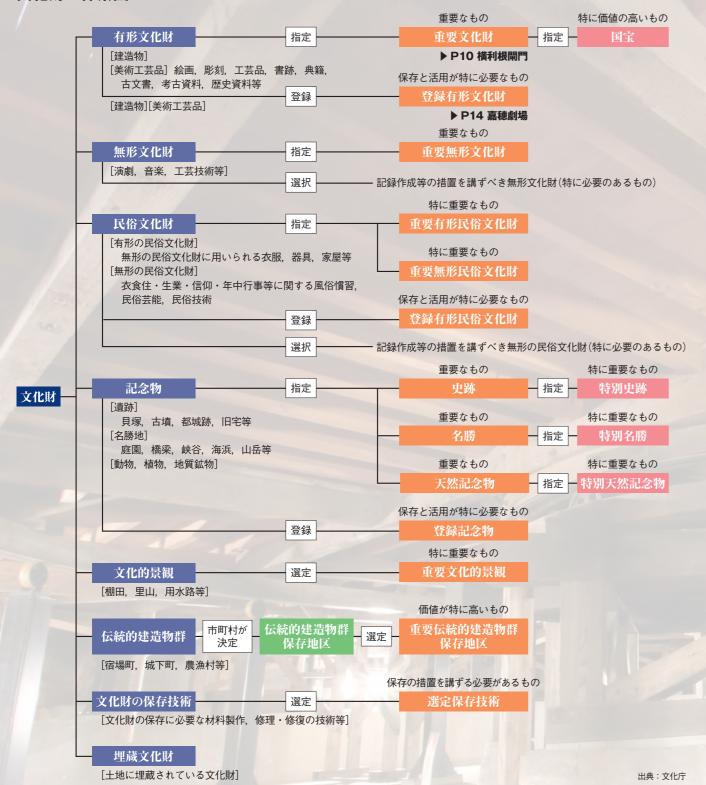
文とは書告かりまとんどは出歩な変化が起きています。これまで、文化財に指定される建造化財建造物の保存修理に携わり、が年々増えるため、保存修理のが年々増えるため、保存修理ので、ます。とは書き物の保存修理に携わり

。。その保存修理に関する調現在二、四三七件が指定されて物からなる「文化財建造物」文化財のうち、建築物や土木構建造物のよる「文化財建造物」であることに違いはない。

(文建協) だ。設計室の小林

換期を迎えた文化財の保存

### 文化財の体系図



## 文化的価値を見極める

価値を見極める眼力を化財保存の技術と 物の価値を後世に残すという理念 あろうが非木造であろうが 験が導き出した理念だ。 日本の文化財建造物保存の長い経 保存の理念に立ち返っての検討が ままの姿で後世に伝える」という **建造物の仕様を可能な限りあるが** 修理の根幹を成すのは ることはありませんが、 「木造で

近代建築は文化的、

存が可能になる。

現存する多くの

があるとされていても、

場合も少なくない。

詳細な調査を行いますが、 で戻すべき姿はどの時代なのか 創建時の姿、 れて現在に至るまで、 考慮して手が加えられてきました さらに、その建物が経てきた 最も機能を発揮した 「建造物は建てら 判断する眼力も 使い勝手を

ような回答が正しいの

あるという考えに添うならばどの

ことも検討する必要がある。

つひとつが文化財で

初めて計画的かつ継続的な維持保 してみると非生産的な存在となる その建物はいずれ する意思を声に 所有者がその 歴史的に価値 所有者に る現場に触れることで感銘を受け 様子を体感する現場公開を行って 公共の財産としてどう残すことが 関係者間で価値観のズレも出てく るならば、活用しながら保存する ません。観光資源として位置付け 白年を経た建物が丸裸になってい ベストなのかを探すことが必要で 万法を見つけなければなりません。 」。文建協も、文化財をもっと知 し続けることは簡単ではあり 現場公開は千載一遇のチャ まずはその建造物を いう思いから修理の 価値を認め、

活用と保存の両立

文化財は指定されることにより

録制度を設けた。この登録制度は 保存に対し指導・助言を与える緩 「近代建造物は現役かつ用途が 平成八年に文化財登

の打設技術が未熟だったものが少

永く残すためには強度

トで柱を打ち直

ト造の近代建築にはコンクリ

### 文化財建造物(国宝、重要文化財) の現状(平成27年8月1日現在)

文化財保護法に基づき国宝・重要文化財に指定されてい る建造物は、2,437件(内国宝222件)で、棟数は4,732 棟 (内国宝269棟)。時代で分類すると、近世以前のもの が3,878棟(内国宝268棟)で神社や寺院の建物が6割を 超えている。一方で、近代のものは854棟(内国宝4棟) であり、住居や産業・交通・土木関係のものが約7割と なっている。





交通·土木



09 RCe 建設業界 2015.11 ※1 提供:公益財団法人文化財建造物保存技術協会

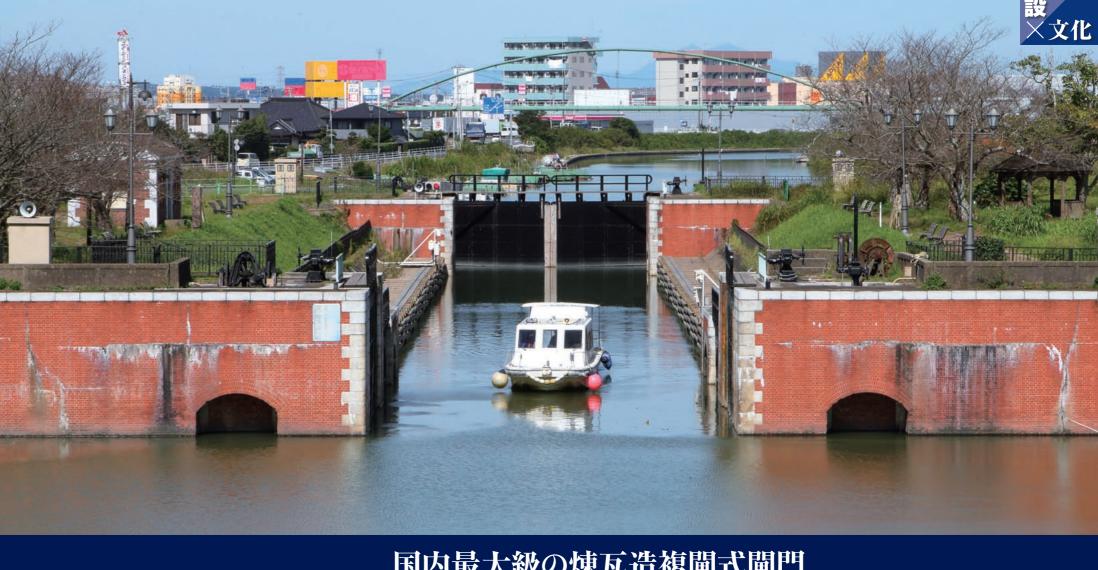
※2 提供: 群馬県 ACe 建設業界 2015.11 08





**「横利根閘門は霞ヶ浦から流れる横利根川と利根川の合流点に建設さ** れた。霞ヶ浦、北浦から利根川を経て江戸川に至る舟運による物流ルー トの重要な結節点だった。下/東洋の「小パナマ」と謳われた横利根閘 門。地元では今でも「カンモン」と呼ばれ親しまれている(提供:利根川下 流河川事務所)。

進めた。 構部にも老朽化が認められた。 裂があり、 補修方法などの検討を行い工事を は根本的に異なる工事になりま という観点から通常の施設改修と の補修事業ということで、『保存』 有効活用に加え、歴史的な構造物 を設立し、補修にあたっての調査・ いる施設です。 一○○年前に我々の先輩が成 部に地盤の液状化に起因する亀 門扉を収容する閘扉室の 門扉本体や防舷材、 保全対策検討委員会 私たちは利根川改 現在も利用されて



国内最大級の煉瓦造複閘式閘門

葛藤と融合 高い。 た施設だ。技術的、

小野正人 Masato Ono

国土交通省関東地方整備局 利根川下流河川事務所 佐原出張所 管理第二係長

期にあって、 らの日本独自の方法論で完成させ 強い使命感がありました」と話す を借りずに造られた純国産の施設 ガを積み上げ、 意見も聞きながら補修検討を行 では文化庁や稲敷市、 物がコンクリート製に移行する時 ました」と当時を振り返る。 かなくてはなりません。委員会 小野正人管理第二係長も「構造 この土木遺産を残すという 技術を受け継ぎなが 二八〇万個ものレ 外国人技術者の手 歴史的価値は 香取市等の

# 構造物全体を支持する地盤の液

状化対策としては浸透固化処理工 地中に固化剤を

法が採用された。

11 ACe 建設業界 2015.11 ACe 建設業界 2015.11 10

良い状態で次の世代に引き継いで

## 土木遺産を後世に残す齢一〇〇歳の現役閘門

がある。 を確保することを目的とした構造 流の要となっていた舟運のル 浦に逆流しないことと、 設置された。利根川の洪水が霞ヶ 利根閘門」。 て横利根川と利根川の合流地点に まった利根川改修工事の一部とし 千葉県香取市の利根川のほと 一〇〇歳近い現役の「閘門」 大正十年に完成した「横 明治三十三年から始

隻ほどの利用がある。 今でも年間一、〇〇〇~二、〇〇〇 和弘管理課長は「既存ストックの で補修の経緯をお聞きした。 は市民の憩いの場となっている。 に重要文化財に指定されたのを機 うに水位を調節する施設である。 の間に設置し、 国土交通省利根川下流河川事務所 補修が平成二十五年度に行われた。 の影響で被災、経年劣化も含めた 閘門とは、 その横利根閘門が東日本大震災 周辺を公園として整備、一帯 水位の異なる川と川 船が航行できるよ 平成十二年





村本建設株式会社 東京土木工事事務所 工事所長

岩間 靖

た際、 水密材が少しでも空いて 寿命だったので従来通りケヤキ材 する。「門扉は遮水する水密材が 長は施工の様子を次のように説明 が顕著で、空気に触れる部分はU 番苦労した記憶があります」。 をかけた繊細な作業だったので一 が漏れてしまいますから、 には川の水に影響のない別の防腐 時保管する気の遣いようだった。 こ削りながら調整しました。 時間 ずつナンバリングし、 擁壁の石積みは撤去した際に一 バイブルだと言いながら見せて よう何重にもラッピングして一 日光に透かして隙間を確認 塗装を施しました。 中川吉造博士が記 水中部分 傷つけな いると水

**り論説報告書には何度も読み返し** 

のシンボル的な土木構造物として る佇まいで、 ることになった。 事例でしたが、当社にとって財産 発揮することで生まれ変わった横 化財修復は横利根閘門が初めての 既存のストックを有効に活用する とも言える知見を得ることができ して国立競技場の解体に伴う、 ことも使命だと語るのは、 最高水準の技術を必要最低限に 歴史的構造物の改修事業に携 や銘板の移設工事を始め、 業になっています。 て文化財の補修、 した」。同社はこの工事を糧と 山貴史工事長だ。「その一環と ジがあるかも 歴史と文化を感じさ 今後も利根川 保存も重要な しれない 大規模な文 同社の

たあとがあった。これを手にした 工されていました。 閘門はこの著書と寸分違わず 時の感銘を明かす。 たことは容易に想像できる 岩間所長の技術者魂に火が 脱帽です」と

ラップアンドビルドに特化した ゼネコンにはインフラ整備やス

配慮する必要がある。 地盤に与える影響や、 にして地盤を強固なものとする。 れた。どちらも間違ってはいない 存在感を発揮できるのではという するレンガと固化剤の付着度など に荷重をかける可能性もあります 「地盤改良が必要以上に施設本体 地が傷つかない程度の洗浄をする ガは黒ずんだままの方が歴史的な 人念に調査·検討しました」と蟻 う観点からはより美しい景観に レンガの洗浄については、 検討を重ね、 しかし、 意見は分か 観光資源と 本体を構成 レンガの目 レン 必要があります」と話してくれた。 ほしいので、 ています。 用しており、 するラック棒は建設当時のまま使 設管理係長は「扉体の開閉を支持 をどこまで介入するかが大きな課 補修して現状を維持しようとし

があった。

あれば、 世に伝える」ことが優先されるた 補修にあたり永く残すための改良 最新形式などに交換するはずであ め、部材は変更しない。文化財の ありながら文化財建造物である。 はステンレス製に、機械部品等も ことが決まった。 可能な限りあるがままの姿で後 通常の老朽化した施設の補修で 横利根閘門は土木構造物で 防舷材はゴム製に、 門扉

二つの視点文化財の保存というストックの有効活用と、

調査、

検討を継続する

今後も末永く稼働して そのために定期的な

今後も傷んだ箇所だ

同事務所の古平崇施

防舷材は日光が当たる左側の腐朽 えないよう厳密な試験を行い、 担当した村本建設㈱で聞いた。施 の温度、水圧、洗浄時間を検討。 上は極めて繊細なものになったと の洗浄では、 当時の修復作業について工事 高温高圧洗浄機によるレン レンガに損傷を与



国土交通省関東地方整備局 利根川下流河川事務所 管理課長

蟻川和弘 Kazuhiro Arikawa

13 ACe 建設業界 2015.11 ACe 建設業界 2015.11 12

## 台風の大雨で浸水炭鉱町の娯楽の殿堂が

います。博多には大した芝居が 福岡県飯塚市で今も現役で稼働 木造二階建て入

母屋造、間口約二七㍍の堂々たる は日常茶飯事だった」と話す。全 威容は今も訪れる者を圧倒する。 翌年の昭和六年。 前身の「中座」が台風で倒壊した 舞台を手伝わされたなどいうこと うが!』と叱られ、罰として廻り 「現在の、だいたい七○歳以上の 法人嘉穂劇場の伊藤英昭理事長だ。 立たないので飯塚に観に行く、と 「当時、周辺には芝居小屋が街中 シンボル的な大衆劇場だ。設立は、 の街として隆盛を誇ったこの地の き見に来た子供が、『また来とろ すよ」と教えてくれたのはNPO 言われたほど賑やかだったようで に大小五○から六○軒もあったと した。観劇料を払わずに公演を覗 八は、この劇場の周辺が遊び場で



特定非営利活動法人 嘉穂劇場 理事長 伊藤英昭

Hideaki Itoh



市の登録有形文化財に認定された。

いに応えるように嘉穂劇場は飯塚

北部九州豪雨で壊滅的な被害を受

見舞われた。下/看板の半分まで達した浸水被害(提供:嘉穂劇場)

没、客席が浮き上がるほどの瀕死ける。地下施設から舞台までが水

体の財産になりました」と挨拶し

た。この式典自体、劇場ではなく

はや個人の所有物を超えて、街全 皆様に愛され続けたこの劇場は、

地元の商工会議所が主導して開催

してくれたものだ。翌年、この想

記念式典で「長い年月にわたって

は、平成十三年の創立七○周年の

その志を引き継いだ伊藤理事長

める大衆劇場となった。

でも年間四○近い公演で人気を集 会」が開催されるまでに復興。今 支援を集めながら「全国座長大

以上に強いものだった。 元の嘉穂劇場に寄せる思いは予想 伊藤理事長は思った。「廃業」とい 愛され続ける街のシンボル う言葉も頭をよぎる。 復旧は難しいかもしれない、 地



廻り舞台を擁する希少な舞台遺構

有形文化財

三五〇を超える興行が立ったが、

一○年後にはその数も三○に満た

盛期から昭和三十年代までは年間

なくなる。当時の経営者であった

義母、伊藤英子氏が奔走、地元の

は、木戸銭を払わずに叱られてい の人が駆けつけてきた。その中に

している伊藤理事長のもとへ多く

水浸しの地下室を前に、呆然と

たかつての腕白坊主の顔もあった。



待ちに待った公演に全国各地から多くの観客が訪れ、大盛況を迎えた(提供:嘉穂劇場)

いる。「熊本の『八千代座』(重文) お任せしました」と伊藤理事長は 名前はよく知っていた。安心して の修復を手がけた松井建設さんの

## 被災後わずか一年で復旧

松井建設は九月から調査設計を

戻す』ということ。使える部材は 決まったら現場を黙々と進めるだ 期優先で施工を進めた。「工程が 災害復旧と補強工事と位置付け工 う視点で取り組むならば、調査設 痛めました」。文化財の保存とい どうすれば間に合うか非常に頭を 開は私の願いでもありましたが、 を切っている。 初の仕事は優先順位をつけること 長に当時の様子をお聞きした。「最 現場を率いた建築部の浜崎寛副部 計に最低一年はかけたいところだ。 べて使いました」。 順次半解体工事に着手した。 念頭に置いたのは『元に なにしろ施工期間は一年 一日も早い劇場再 床下はコン

> 設材』は補強のため新たに部材を 追加したというサインです。将来 の部材を交換した箇所、『平成仮 木材には二種類の焼印が押されて そこかしこに見える。手を加えた のみ削って同種の木材に置き換え ける技術者たちに現況を伝えたか る。ジグソーパズルのような柱が 『保存』を目的とした工事を手掛 た。「『平成十六年修補』は、

れた。 ったと実感しました」と話してく 観客から歓声と拍手が沸き

が実績を残してきた当社の社会的 引き継ぐ責任を果たしたい。それ に新たな技術を取り入れ、 かし、伝統技術を継承し、 りのことも少なくありません。 に必要な技術も異なり、 な建築物の建設、修復に携わって に話す。「当社は創業以来伝統的 会社の立ち位置について次のよう 、ます。 また、文化財修復に関わる建設 文化財の補修は案件ごと 未だ手探 その中 将来に

文化財を後世に残すという強い思 るなかで、地域・国の財産である 建造物は増加し、 認定された。今後、文化財指定の 成十八年に国の有形文化財に、そ て取り組んだ結果、 の翌年には近代化産業遺産に登録 嘉穂劇場修復に向け一丸となっ 修理対象も広が 嘉穂劇場は平

ったんです」。

床自体には歪みや損傷はありませ 見たいという声が上がる。「幸い 成十六年七月十九日の復興記念公 舞台を支えるレール架台を増設し ましたが念のためこれを補強し、 んでした。軸芯もしっかりして かった廻り舞台の勇姿をもう一度 に固定され四○年も動くことのな た」。被災からちょうど一年後、平 て往時の廻り舞台を復旧しまし 工事の途中、 それまで舞台の床

使命です」。



材はそのまま残した。

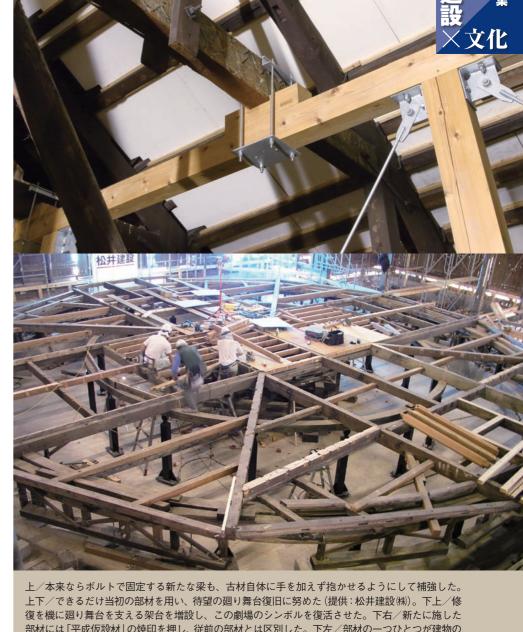
トで補強したが、

当初の部

重要な支柱や梁は腐食した部分

松井建設株式会社 九州支店 建築部 副部長 浜崎 寛

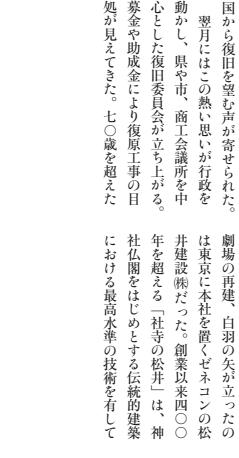
いをみせた。



部材には「平成仮設材」の焼印を押し、従前の部材とは区別した。下左/部材の一つひとつが建物の 歴史を語る生き証人だ。古材の破損部分だけを繕うように同質の木材に置き換えた(提供

平然仮設社

**9Ce** 建設業界 20



たず本当に驚きました。私自身、 直後は再建など全く考えられませ

んでしたが、周りの方が当たり前

取り上げられ、

地元のみならず全

イベントを開催。新聞でも大きく

芸能人が手弁当でチャリティ

舞と共に嘉穂劇場の復旧の足しに と寄付をしてくださる方が後を絶

「被災直後からうちの家族への見

のように復旧の段取りの話をされ

て動いていました」。名だたる俳 るので、気づけば私も復旧に向け

県や市、